

OTOWA カップ 第31回 関東女子ラグビーフットボール大会  
Supported by アミノバイタル 大会実施要項（一般の部）

1. 名 称 OTOWA カップ 第31回関東女子ラグビーフットボール大会 Supported by アミノバイタル（一般の部）
2. 趣 旨
  - (1) 関東地区における女子ラグビーチームの交流と、15人制ラグビーのレベルアップを図る。
  - (2) 第7回全国女子ラグビーフットボール選手権大会の出場チーム及び順位を決定する。
3. 主 催 : 関東ラグビーフットボール協会
4. 主 管 : 関東ラグビーフットボール協会女子委員会
5. 協 力 会場が決まり次第、会場所在地の各都県協会に依頼予定
6. 冠協賛 : 株式会社オトワ
7. 商品協賛 : 味の素(株)スポーツニュートリション部
8. 出場チーム
  - (プールA)
    - a 単独 : RKU グレース
    - b 合同 : 東京山九フェニックス, YOKOHAMA TKM
    - c 合同 : 横河武蔵野 Artemi-Stars, 国際武道大学女子ラグビー部
  - (プールB)
    - d 合同 : プレイブルーヴ, 世田谷レディース, 北海道バーバリアンズディアナ
    - e 合同 : ARUKAS KUMAGAYA, 自衛隊体育学校
    - f 単独 : 日本体育大学ラグビー部女子

## 9. 日程・組み合わせ・会場

(1) 11月22日(日)

RKU グレース 対 YOKOHAMA TKM 山九フェニックス  
L.B.S 対 Morning Bears

(2) 12月6日(日)

RKU グレース 対 Artemi-IBU-Stars  
L.B.S 対 日本体育大学ラグビー部女子

(3) 12月20日(日)

YOKOHAMA TKM 山九フェニックス 対 Artemi-IBU-Stars  
Morning Bears 対 日本体育大学ラグビー部女子

(4) 12月27日(日)

(5) 1月17日(日)

A 3位 対 B 2位 (M7)  
A 2位 対 B 3位 (M8)

(6) 1月24日(日)

A 1位 対 M7 勝者 (M9)  
B 1位 対 M8 勝者 (M10)  
M7 敗者 対 M8 敗者

(7) 2月7日(日)

M9 敗者 対 M10 敗者  
M9 勝者 対 M10 勝者

(8) 2月14日(日)

上記は天候・会場の状況などにより変更されることがある。試合が開催出来なかった場合、予選プールについては当該日の試合を12月27日に、決勝トーナメントについては以降順送りにて実施する。

## 10. 参加資格

(1) チームについて

関東ラグビーフットボール協会に登録しているチームであること。

(2) 選手について

- 関東ラグビーフットボール協会に登録している2002年4月1日以前に生まれた女子選手とする。
- 本大会を通じて同一選手の異なるチームでの出場は認めない。

(3) その他

- スポーツ安全保険に加入していること。
- 既往症(内科的疾患も含む)がある場合は、前もって大会実行委員に医師の診断書を提出し、関係者が相談のうえ参加の可否を判断する。

1 1. 競技規則

- (1) 2020 年度版 World Rugby 競技規則にて実施する。
- (2) 試合時間  
40 分ハーフとし、ハーフタイムは 10 分以内とする。
- (3) 試合当日の選手の登録は、23 名以内とする。
  - 各チームは、試合前にレフリーにフロントロープレーヤーとその交代要員を知らせなければならない。フロントローの各プレーヤーおよび交代の可能性のある要員は、適切に訓練され、かつ、経験のあるプレーヤーでなければならない。
- (4) 選手の入替及び交代は、大会が用意した入替／交替カードに必要事項を記入し M0 または、競技役員に提出し、レフリーの指示に従って行うものとする。
- (5) マウスガードの着用を義務とする。
- (6) 19 歳未満の選手はヘッドギアの着用を義務とする。

1 2. 競技方法

- (1) 試合人数：15 人制
- (2) トーナメント戦方式にて行い、勝点の多いチームから順に順位を決定する。
- (3) 順位の決定

【予選プール】

各プールで総当たり戦を行い、試合終了毎に、勝点（勝ち：4 点、引き分け：2 点、負け：0 点）を与え、全試合終了時の勝点総計に基づいて順位を決定する。勝点と同数の場合は、次の順序で順位を決定する

- ① 試合終了時に勝点と同数の場合は、得失点差の多いチームから上位とする。
- ② 得失点差が同数の場合は、トライ数の多いチームから上位とする。
- ③ トライ数が同じ場合には、コンバージョン数の多いチームを上位とする。
- ④ 上記全てが同じ場合には、抽選で順位を決めることとする。
  - (a) 不戦勝チームは勝ち点「4」、不戦敗チームは「0」とする。
  - (b) ボーナス点として以下の勝ち点を与える。
    - ・ 負けても 7 点差以内ならば、勝ち点「1」を追加。
    - ・ 勝敗に関係なく、4 トライ以上獲得したチームに、勝ち点「1」を追加。

【決勝トーナメント】

予選順位に応じた決勝トーナメント組み合わせにて、最終順位決定を行う。

同点の場合は、以下の各号の順序により勝利チームを決定する。

- I トライ数の多いチーム
- II トライ後のゴール数の多いチーム
- III 上記全てが同じ場合には、22m 正面からのコンバージョン対決で順位を決定する



※本年度に限り、新型コロナウイルス感染拡大対応にて登録についてのルール変更が行われたことを受け、9月末までに登録を完了することを条件に参加を認める。

- (2) 外国籍の選手が参加する場合は（公財）日本ラグビーフットボール協会「チームの登録等に関する規程」の「第4章外国人選手」にもとづいて、承認を受けた者に限る。
- (3) アジア枠選手1名を除く外国籍選手は、試合へのエントリー人数は制限を設けないが同時出場は3名までとする。
- (4) アジア・ラグビーフットボール協会加盟国協会の国籍を有するものは、外国籍選手登録と同時に「アジア枠」として登録することができる。
- (5) 選手としてアジア枠でフィールドオブプレーに入ることができる選手は、1名を限度とする。

16. 参加費 1チームにつき 15,000円

17. 表彰

- 毎試合で1名、MIP (Most Impressive Player)を選出する。
- 優勝チームを表彰する。
- FWから1名、BKから1名 大会 MVPを選出する。

17. 試合当日の練習場所

- 当日の練習場所は、各会場によって異なるため、大会マニュアルにて確認する事。

18. テクニカルゾーン

- 試合会場に応じて実行委員会において随時定める。

19. プレマッチミーティングについて

- (1) 実施する時刻は、大会マニュアルに記す。
- (2) 参加者は、大会実行委員長、記録責任者、チーム代表者、レフリーとする。
- (3) プレマッチミーティングでは、以下の事項を確認する。
  - 出場登録選手の最終確認
  - 時計の同期
  - レフリーからのブリーフィング、ドレスチェック、コイントス時間及び場所の確認
  - その他、競技運営に関する留意事項を確認